

**APW4103** 書式&1が書式ファイル&3/&2に追加された。

コピー操作が正常に完了したため、書式&1が物理ファイルメンバーとして物理ファイル&3/&2に追加されました。詳細についてはジョブ・ログ中の前のメッセージを参照してください。

重大度: 00

変数	形式
&1 書式名	*CHAR 10
&2 書式ファイル名	*CHAR 10
&3ライブラリー名	*CHAR 10

**APW4104** 書式&1は、コピーされなかった。

原因: エラーが起こったため、コピー操作は完了しませんでした。

回復: ジョブ・ログ中の前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを修正し、ふたたび操作を行ってください。

重大度: 30

変数	形式
&1 書式名	*CHAR 10
&2 書式ファイル名	*CHAR 10
&3ライブラリー名	*CHAR 10

**APW4105** ファイル名が必要である。

回復: 処理しようとする書式を含む書式ファイル名を入力してください。

重大度: 30

**APW4106** サブセット基準に合う書式がありません。

重大度: 00

**APW4107** 同じ名前にコピーすることはできない。

原因: 書式を同じ名前にコピーしようとしています。

回復:

- 同じファイル内にコピーするためには、新書式名を変更してください。
- 同じ書式名でコピーするためには、ファイルまたはライブラリー名を変更してください。

重大度: 30

**APW4108** 空のリストを印刷することはできない。

原因: 表示されている書式リストを印刷しようとしています。書式が存在しません。

回復: 制御フィールドのライブラリー名、ファイル名、または書式名を変更して書式の存在する書式リストを表示したのち、ふたたびF6キーを押してください。

重大度: 10

APW4109 リストを変更して機能キーを押すことはできない。

原因: ライブラリー名、ファイル名または書式名などの制御フィールドを変更して、機能キーを押しています。

回復:

- リストを変更するためには、制御フィールドを変更したままで、実行キーを押してください。
- 機能キーを使用するためには、制御フィールドを元に戻してから必要な機能キーを押してください。

重大度: 30

APW4110 オプションまたはコマンドが保留中のとき、リストを変更することはできない。

原因: リストにオプションを指定して、またはコマンドを指定してリストを変更しようとしていました。

回復:

- リストを変更するためには、オプションやコマンドを除去してから実行キーを押してください。
- オプションやコマンドを実行するためには、制御フィールドを元に戻して実行キーを押してください。

重大度: 30

APW4111 書式&1は置き換えられたので、オプションは無視された。

原因: ファイル&3/&2内の書式&1にオプションを指定しましたが、これが実行される前にそれ以前の作成またはコピー・オプションによって書式は置き換えられました。そのため、指定されていたオプションは無視されました。

回復: 置き換えられた新しい書式にこのオプションを実行するためには、ふたたびオプションを指定して実行キーを押してください。

重大度: 10

変数	形式
&1 書式名	*CHAR 10
&2 書式ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW5101 印刷ファイル&2/&1がオープンできない。

原因: ファイルのオープン時に予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 印刷装置ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW5102** スプール・ファイルへアクセス中にエラーが発生した。

原因: スプール・ファイルへアクセス中に予期しないエラーが発生しました。エラーの原因はスプール・ファイル名が正しくないこと、またはスプール・ファイルの使用権をユーザーが持たないこと等が考えられます。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

**APW5103** 書式ファイル&2/&1が使用できない。

原因: 指定された書式&2/&1が物理ファイルではありません。

回復: 書式ファイル名を変更し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 書式ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW5104** 書式が使用できない。

原因: APWは、このバージョンではこの書式をサポートしていません。あるいは、指定された書式がAPWで作成されたものではありません。

回復: 書式名を変更し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

**APW5106** ユーザーは、この機能の使用権を持っていない。

原因: ユーザーがCRTPF, CRTLF, ADDPFM, ADDLFM, DLTF, RMVM, CPYSPLF, CPYF, OVRPRTF, SBMJOBのうちいずれかのCLコマンドの使用権を持っていません。

回復: コマンドの使用権を取得して、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

**APW5107** 印刷装置&1にエラーが発生した。

原因: 印刷装置にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 印刷装置名	*CHAR 10

**APW5108** ファイル&3/&2の書式記述原始メンバー-&1をオープンできない。

原因: メンバーオープン時、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 書式記述原始メンバー名	*CHAR 10
&2 書式記述原始ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW5109** 書式記述原始ファイルをアクセス中にエラーが発生した。

原因: ファイル・アクセス時にレコード&1で、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 レコード番号	*BIN 2

**APW5110** 書式ファイル&3/&2の書式データベース・メンバー&1をオープンできない。

原因: メンバーオープン時、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 書式名	*CHAR 10
&2 書式ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW5111** 書式データベース・ファイルをアクセス中にエラーが発生した。

原因: ファイル・アクセス時、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

**APW5201** 記号セット&1がファイル&3/&2に存在しない。

原因: 記号セット&1が記号セットファイル&3/&2に存在しません。

回復: 記号セット、記号セットファイル、もしくはライブラリー名を変更して、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&3 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10

APW5202 ファイル&3/&2のメンバー&1は記号セットでない。

原因: ファイル&3/&2内の&1は、記号セットではありません。

回復: 記号セット名を指定し直してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&3 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10

APW5203 記号セット・ファイルをクローズできない。

原因: ファイル・クローズ時に予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

APW5204 ファイル&3/&2の記号セット&1がオープンできない。

原因: ファイル・オープン時に予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW5301 ユーザーデータを変換できない。

原因: 変換時に予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 40

APW5405 MAGNIFY指定は無視された。

原因: 印刷装置タイプ&1のときMAGNIFYの指定が行われました。印刷装置タイプ\*SCSではMAGNIFYの値は1.2.3.4.7.8が使用できます。\*PAGESでは1.2.3.4.5.6.7が使用できません。

回復: 無視された指定を有効にするためには、指定したMAGNIFYの値が使用できる印刷装置タイプを指定してください。

重大度: 00

変数	形式
&1 印刷装置タイプ名	*CHAR 10

**APW5410 FONT指定は無視された。**

原因: 印刷装置タイプ&lのとき、CRTAPWあるいはADDAPWコマンドのFONTパラメーターは無視されます。印刷装置タイプ\*SCSではこの指定は使用できます。\*PAGESでは使用できません。

回復: 無視された指定を有効にするためには、このパラメーターが使用できる印刷装置タイプを指定してください。

重大度: 00

変数	形式
&l 印刷装置タイプ名	*CHAR 10

**APW5413 上付き・下付き文字指定は無視された。**

原因: 上付き・下付き文字の多重指定が行われました。一重指定のみサポートされています。

回復: 書式のADDAPW SUPER/SUBパラメーターを変更してください。

重大度: 00

**APW5414 SHADOW指定は無視された。**

原因: 印刷装置タイプ&lのときADDAPWのSHADOWパラメーターは無視されます。印刷装置タイプ\*SCSではこのパラメーターは使用できません。\*PAGESでは使用できます。

回復: 無視された指定を有効にするためには、このパラメーターが使用できる印刷装置タイプを指定してください。

重大度: 00

変数	形式
&l 印刷装置タイプ名	*CHAR 10

**APW5415 SYMBOL指定は無視された。**

原因: 印刷装置タイプ&lのときADDAPWの240PELを指定したSYMBOLパラメーターは無視されます。印刷装置タイプ\*SCSでは240PELを指定したこのパラメーターは使用できません。\*PAGESでは使用できます。

回復: 無視された指定を有効にするためには、このパラメーターを使用できる印刷装置タイプを指定してください。または、このパラメーターに180PEL記号を指定してください。

重大度: 00

変数	形式
&l 印刷装置タイプ名	*CHAR 10

**APW5501 DBCS文字はBARCODEのデータとして印刷できない。**

原因: BARCODEの印刷に指定されたデータはDBCS文字でした。

回復: 次のいずれかの変更を行い、ふたたびコマンドを実行してください。

BARCODEのデータを変更してください。  
BARCODEの開始桁番号あるいは桁幅を変更してください。  
LINEの開始行番号あるいは終了行番号を変更してください。

重大度: 20

**APW5502** BARCODEとして印刷しようとしたデータが正しくない。

原因: BARCODEの印刷に指定されたデータが正しくありませんでした。

回復: 次のいずれかの変更を行い、ふたたびコマンドを実行してください。

BARCODEのデータを変更してください。有効なバー・コード・データは指定されたバー・コード・タイプによって異なります。次のいずれかの正しいバー・コード・データを指定してください。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 1) CODE 3 OF 9         | :0から9,AからZ,-,...S,/,+,%、空白                        |
| 8) JAN短縮(EAN-8)        | :0から9   |
| 9) JAN標準(EAN-13)       | :0から9   |
| 10) INDUSTRY 2 OF 5    | :0から9   |
| 12) INTERLEAVED 2 OF 5 | :0から9   |
| 13) NW-7               | :0から9,AからD,-,...S,/,+ (開始文字と終了文字はAからDでなければなりません。) |

BARCODEの開始桁番号あるいは桁幅を変更してください。LINEの開始行番号あるいは終了行番号を変更してください。

重大度: 20

**APW5503** BARCODE指定は無視された。

原因: 印刷装置タイプ&lのときBARCODEの指定が行われました。印刷装置タイプ\*PAGESではBARCODEは使用できません。

回復: 無視された指定を有効にするためには、BARCODEを使用できる印刷装置タイプを指定してください。

重大度: 00

変数	形式
&l 印刷装置タイプ名	*CHAR 10

**APW6001** すでに合成出力のためのオープン処理が行われている。

原因: すでに合成出力のためのオープン処理が行われているにもかかわらず、再びオープン処理プログラムを実行しようとした。

回復: 合成出力を続けて行うか、一旦クローズ処理を行ってからふたたびオープン処理を行ってください。

重大度: 00

**APW6002** 合成出力後のクローズ処理プログラム実行時にエラーが発生した。

原因: クローズ処理時、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、再びコマンドを実行してください。

重大度: 30

**APW6003** 合成出力前のオープン処理が実行されていない。

原因: オープン処理の実行前に合成出力を行おうとしました。

回復: オープン処理を実行してから、ふたたび合成出力を実行してください。

重大度: 30

**APW6101** パラメーターのユーザー・データの幅、長さが正しくない。

原因: 数字でないか、許容範囲外の値が指定されました。

回復: 正しい値を指定し、ふたたび実行してください。

重大度: 30

**APW6102** パラメーターの書式名が正しくない。

原因: ファイルメンバー名として認められない文字列が指定されました。

回復: 正しい書式名を指定し、ふたたび実行してください。

重大度: 30

**APW6103** パラメーターの書式ファイル/ライブラリー名が正しくない。

原因: ファイル/ライブラリー名として使用できない文字列が指定されました。

回復: 正しい書式ファイル/ライブラリー名を指定し、ふたたび実行してください。

重大度: 30

**APW6201** 前の合成で書式を一度も指定せずに書式パラメーターをブランク指定した。

原因: 前のページの合成出力で一度も書式を指定せずに書式パラメーターとしてブランクを指定しました。

回復: 正しい書式パラメーターを指定し、ふたたび実行してください。

重大度: 30

**APW6202** ユーザー・データ中の行番号が正しくない。

原因: パラメーターとして指定したユーザー・データ中の行番号に数字でないか書式長を超えるものがあります。

回復: 正しい行番号を指定し、ふたたび実行してください。今回の合成は正しくない行データを無視して行われています。

重大度: 20

**APW7001** 記号セット・ファイル名の10桁目が正しくない。

原因: 10桁目に@、#、¥のいずれかを指定しました。

回復: 10桁目を変更してください。

重大度: 30



APW7002 記号セット・ファイル&2/&1が使用できない。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7003 ライブラリー&1が見つからない。

原因: ライブラリー&1が存在しません。

回復: ライブラリー名を変更し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7004 ファイル&2/&1は記号セット・ファイルではない。

原因: APWで作成した記号セット・ファイル以外のファイルを指定しました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7005 ファイル&3/&2の記号セット&1が使用できない。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7006 記号セット・ファイルが作成できない。

原因: ファイル作成時にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 00

APW7007 記号セット・ファイルを構成するファイル&2/&1が作成された。

記号セット・ファイルの作成が指定されると、1つの論理ファイルと3つの物理ファイルが作成されます。

重大度: 00

変数	形式
&1 ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7008 記号セットが作成できない。

原因: 記号セット作成時にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 00

APW7009 記号セット&1がファイル&3/&2に作成された。

重大度: 00

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7010 記号セットのID長が指定されていない。

原因: 記号セット作成時にはID長の指定が必要です。

回復: ID長として1, 2, 10のいずれかを指定してください。

重大度: 00

APW7011 削除した記号セットに正しくない指定をした。

原因: 削除した記号セットの入力フィールドに値が入力されました。

回復: 入力フィールドを空白にしてください。

重大度: 00

APW7012 ファイル&3/&2のメンバー&1はAPWの作成ではない。

原因: APWで指定されたメンバー以外が記号セットとして指定されました。

回復: 記号セット名を指定し直してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 メンバー名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW7013** ファイル&3/&2のメンバー&1は記号セットではない。

原因: 記号セット以外のメンバーが記号セットとして指定されました。

回復: 記号セット名を指定し直してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 メンバー名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

**APW7014** 削除した記号に正しくない指定をした。

原因: 削除した記号の入力フィールドに値が入力されました。

回復: 入力フィールドを空白にしてください。

重大度: 00

**APW7015** 記号の作成指定なしに、基本の記号指定のみを行った。

原因: 基本記号指定は、記号の作成時にのみ有効です。

回復: 記号の作成に必要な指定を行うか、基本の記号指定を除去してください。

重大度: 00

**APW7016** 作成しようとする記号が正しくない。

原因: 記号名の途中で空白があります。

回復: 記号名を指定し直してください。

重大度: 00

**APW7017** 作成しようとする記号はすでに存在する。

原因: すでに存在する記号と同じ名前の記号を作成しようとしてしました。

回復: 記号名を指定し直してください。

重大度: 00

**APW7018** 基本の記号指定を複数指定した。

原因: 基本の記号は1つに限られます。

回復: 基本の記号指定を1つにし、他の指定を除去してください。

重大度: 00

**APW7020** 記号の幅、または長さが指定されてない。

原因: 基本の記号を指定せずに記号を作成する時は、幅と長さの指定が必要です。

回復: 記号の幅 (桁数) と長さ (行数) を指定してください。

重大度: 00

APW7021 記号の幅, または長さの指定が正しくない。

原因: 1.記号の幅または長さが, それぞれの最大値20, 15を超えています。  
2.ID長が2の場合に幅として1が指定されました。  
3.ID長が10の場合に幅として記号名の長さ以下の値が指定されました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 00

APW7022 ファイル&3/&2の記号セット&1が削除できない。

原因: 記号セット削除時にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し, ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7023 ファイル&3/&2の記号セット&1を削除した。

重大度: 00

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7031 ファイル&2/&1は180PEL記号セットファイルではない。

原因: FROM記号セットファイルに指定されたファイル&2/&1は180PEL記号セットファイルではありません。

回復: 180PEL記号セットファイル名を指定して, ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7032 ファイル&2/&1はAPWの240PEL記号セットファイルではない。

原因: TO記号セットファイルに指定されたファイル&2/&1はAPWで作成された240PEL記号セットファイルではありません。

回復: APWで作成された240PEL記号セットファイル名を指定して, ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7033 FROMSET(\*ALL)の場合はTOSETパラメーターは\*FROMSETであることが必要です。

原因: FROMSET(\*ALL)を指定する場合には、TOSETパラメーターに\*FROMSETを指定しなければなりません。

回復: TOSETパラメーターの指定を削除するか、TOSET(\*FROMSET)を指定するか、またはFROMSETパラメーターに記号セット名を指定して、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

APW7034 記号セット&1が記号セットファイル&3/&2内に見つからない。

原因: 記号セット&1が記号セットファイル&3/&2に存在しません。

回復: 記号セット、記号セットファイル、もしくはライブラリー名を変更して、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7035 ファイル&3/&2の記号セット&1が変換されなかった。

原因: エラーが起こったため、記号セットファイル&3/&2の記号セット&1が変換されませんでした。

回復: ジョブ・ログ中の前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを修正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&3 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10

APW7036 ファイル&3/&2の記号セット&1が変換された。

原因: 記号セットファイル&3/&2の記号セット&1が、記号セット・ファイル&6/&5の記号セット&4に変換されました。

重大度: 00

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&3 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10
&4 記号セット名	*CHAR 10
&5 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&6 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10

APW7037 変換コマンドがエラーのため終了しました。

原因: 記号を変換している時に予期せぬエラーが起り、処理は終了しました。

回復: ジョブ・ログ中の前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを修正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

APW7038 &1個の記号セットが変換され、&2個の記号セットは変換されなかった。

原因: &1個の記号セットは正常に変換されました。&2個の記号セットはエラーのため変換されませんでした。

回復: ジョブ・ログ中の前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを修正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 00

変数	形式
&1記号セット数	*BIN 4
&2記号セット数	*BIN 4

APW7039 記号セット&1は、記号セットファイル&3/&2に既に存在している。

原因: 記号セット&1は、記号セットファイル&3/&2に既に存在している。

回復: REPLACE(\*YES)を指定するか、TOSETパラメーターを変更するか、またはTOFILEパラメーターを変更し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 ファイル名	*CHAR 10
&3 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7040 CRTFILE(\*YES)の場合にTOFILEパラメーターに\*LIBLを使用することはできない。

原因: CRTFILE(\*YES)を指定する場合には、TOFILEパラメーターに特定のライブラリーを指定しなければなりません。

回復: 変換された記号セットを格納するライブラリー名をTOFILEパラメーターに指定するか、またはCRTFILEパラメーターを\*NOに変更し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

APW7041 記号セットファイル&1がライブラリー&2に見つからない。

原因: 記号セットファイル&1がライブラリー&2に存在しません。

回復: 記号セットファイル、もしくはライブラリー名を変更して、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 ファイル名	*CHAR 10
&2 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7042 記号セットファイル名の10桁目が正しくない。

原因: 10桁目に@, #, ¥, \_のいずれかを指定しました。これらの4文字は240PEL記号セットファイル名の10桁目には使用できません。

回復: 10桁目を変更してください。

重大度: 30

APW7043 ライブラリー&1の使用権限がない。

原因: ライブラリー&1を使用する権限がありません。機密管理者またはライブラリー所有者からライブラリーの使用権を得た後、ふたたび実行してください。

重大度: 30

変数	形式
&1 ライブラリー名	*CHAR 10

APW7044 記号セットファイル&3/&2の記号セット&1を交換中。

重大度: 00

変数	形式
&1 記号セット名	*CHAR 10
&2 記号セット・ファイル名	*CHAR 10
&3 記号セット・ライブラリー名	*CHAR 10

APW7101 記号範囲を超えたところに入力を行った。

原因: 記号の幅または長さの範囲外の位置に、入力が行われました。その入力は無視されません。

重大度: 00

APW7102 ロール・キーが正しくない。

原因: 画面の最初または最後に達しています。

重大度: 00

APW7103 制御フィールドの入力が正しくない。

原因: 制御フィールドに使用できない値を指定しました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 00

APW7104 制御フィールドの指定が記号の範囲を超えている。

原因: 制御フィールドの指定が記号の幅または長さを超えました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 10

**APW7105** 縦方向の拡張係数が正しくない。

原因: 拡張係数として、記号の縦方向の大きさを超える値か、0を指定しました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 00

**APW7106** 横方向の拡張係数が正しくない。

原因: 拡張係数として、記号の横方向の大きさを超える値か、0を指定しました。

回復: 指定し直してください。

重大度: 00

**APW7107** DBCSフォント・テーブルが使用できない。

原因: DBCSフォント・テーブルQIGC2424またはQIGC3232のアクセス時にエラーが発生しました。または、ユーザーがこのテーブルの使用権を持っていません。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。または、使用権を獲得した後で、ふたたび実行してください。

重大度: 50

**APW7110** 記号を保管した。

重大度: 00

**APW7201** 言語を決定できない。

原因: DBCS記号を作成するワークステーションの入出力装置記述のIGCFEATパラメーターが正しく指定されていません。IGCFEATパラメーターには言語を特定するJ、K、C、Sのどれかが指定されていなければなりません。APWは、これに従い、DBCS記号の言語を決定します。

回復: 入出力装置記述のIGCFEATを言語に合わせて指定し直してください。

重大度: 30

**APW8001** 記号セットファイルが作成されます。実行キーを押してください。

重大度: 00

**APW8051** ファイル内に書式がない。

重大度: 00

**APW8052** 記号セット内に記号がない。

重大度: 00



APW8053 ファイル内に記号セットがない。

重大度: 00

APW9013 画面の表示中にエラーが起きました。

原因: 画面の表示中にI/Oエラーが起きました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 40

APW9901 多機能漢字印刷ユーティリティーで予期しないエラーが発生した。

原因: 予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

APW9910 表示装置ファイルへの入出力でエラーが発生した。

原因: 表示装置ファイルへの入出力を行っている間にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

APW9911 印刷装置ファイルへの入出力でエラーが発生した。

原因: 印刷装置ファイルへの入出力を行っている間にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

APW9912 多機能漢字印刷ユーティリティー・ファイルをオープンできない。

原因: IBM提供の多機能ページ印刷ユーティリティー・ファイルをオープンしようとして失敗しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

APW9913 データベース・ファイルへの入出力でエラーが発生した。

原因: データ・ベース・ファイルへの入出力を行っている間にエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

**APW9914** 多機能漢字印刷ユーティリティー・ファイルをクローズできない。

原因: 表示装置ファイル、印刷装置ファイル、データ・ベース・ファイルをクローズしている時に、予期しないエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

**APW9915** 基本DBCSファイルへの入出力でエラーが発生した。

原因: DBCS記号作成時に、複写すべきDBCSフォントを格納する基本DBCSファイルQCGF2424への入出力でエラーが発生しました。

回復: 前のメッセージを参照してください。これらのメッセージからエラーを訂正し、ふたたびコマンドを実行してください。

重大度: 50

**APW9916** 指定されたDBCS文字が基本DBCSファイルに存在しない。

原因: DBCS記号作成時に、複写すべきDBCS文字が基本DBCSファイルQCGF2424に存在しません。

回復: 基本DBCSファイルを初期状態に復元してください。

重大度: 50